

◎生徒スローガン『友愛、協働、そして前へ』

◎教職員のスローガン『協働(チーム) & 改革(リフォーム)』

3 体力と気力をきたえる生徒』

南河内第二中	学校での取組	子どもの取組	家庭での取組	地域での取組	その他の取組 (社会教育施設等)
自ら考え学ぶ生徒 (確かな学力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎「わかりやすい授業」の展開のため、授業の目標を明確にし、ICTを活用する。 ◎主体的・協働的に学ぶ学習を充実させるため、グループ活動を意図的に取り入れる。 ◎個に応じた指導を充実させるため、発展的な学習ができるよう準備し、授業に生かす。 ◎コミュニケーション力を高めるため、自分の思いや考えをまとめ、表現する機会を多く確保する。 ◎学習習慣の確立のため、学習計画を立てさせ、学習内容を見取り、賞賛したり助言したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業の内容を理解するため、「ねらい」を意識して学習する。 ◎ICTについて正しく理解し、情報機器を活用する。 ◎互いの意見や考えを尊重し、伝え合うことで考えを深める。 ◎予習・復習など家庭学習に計画的に取り組む。 ◎本を読んだり、本で調べたりするなど多様な本にふれる習慣を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの学習内容等に関心もち、声をかけたり、家庭で話し合ったりする。 ◎ICTの正しい活用について、家族で話し合う。 ◎将来子どもたちが身に付けるべき資質や能力についての理解を深める。 ◎子どもが家庭学習に取り組やすい環境をつくる。 ◎子どもと一緒に本のお話をするなど、本に親しむ習慣を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもが参加する地域学習や地域行事、地域活動の環境づくりに協力する。 ◎地域資源を生かした教育活動や社会体験学習に協力する。 ◎学校のボランティア等に協力する。 ◎主体的な進路選択のために、子どもたちに様々な生き方に触れる機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎小中学生を対象として、見聞または体験できる歴史講座、地域講座などふるさと学習ができる講座を開設し、参加を呼びかける。
思いやりのある生徒 (豊かな人間性)	<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な生活習慣の定着に努め、丁寧なあいさつや言葉遣いを意識させる。 ◎互いに尊重し合う思いやりの心を育むために、特別の教科道徳や学級活動に力を入れる。 ◎主体的に行動し実践する力を高めるため、道徳教育や生徒中心の奉仕活動を充実させる。 ◎自己肯定感と自己有用感を高めるため、行事を充実させ、活躍の場を設けることで賞賛の機会を多く取る。 ◎朝の読書や良書の紹介などを通して、読書の習慣化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎丁寧なあいさつや言葉遣いを意識するとともに、人として守るべきルールやマナーを正しく理解し行動する。 ◎互いによいところを認め合い、助け合って楽しく生活する。 ◎特別の教科道徳の授業を通して、多様な価値観に触れることで生き方についての考えを深める。 ◎読書に親しみ、豊かな心を育む。 ◎自問清掃を意識し、自分たちの学校を自分たちの手できれいにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大人が率先して子どもにあいさつしたり、感謝の気持ちを伝えたりする。 ◎集団におけるマナーやいじめ防止について家族で話し合う。 ◎家庭での対話を大切にする。子どものもつ良さを認める。 ◎学校と家庭が情報を共有し、子どもの状況をよく把握する。 ◎学校や社会のルールやマナーやその意義について話し合う。 ◎読書に親しめる環境をつくり、良書を薦める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大人が公共での振る舞いについて考え、子どもたちの手本になるようなあいさつや行動をする。 ◎子どもをほめる機会をつくり、子どもの自己肯定感や自己有用感を育む。 ◎子どもに地域のよさを伝え、地域を大切にする活動を支援する。 ◎奉仕活動や福祉活動など、子どもの体験活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎奉仕活動や福祉活動への参加を呼びかける。 ◎地域のまつりや清掃活動など異年齢集団の交流活動への参加を呼びかける。 ◎二中学校区小中合同クリーン活動・エコライフまつりなど、地域の行事や清掃活動への参加を呼びかける。
体力と気力を きたえる生徒 (健康・体力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎「立腰」、「早寝、早起き、朝ご飯」の実践に努め、健康維持の意識を高める。 ◎感染症の予防のために、環境を整備し、自ら三密を避け、消毒をするよう働きかけをする。 ◎危険箇所を確認したり、事例を挙げて危険行為を説明したりするなど、事故の未然防止に努め、自分の身は自分で守る意識を高めさせる。 ◎スポーツの楽しさと運動量を確保した保健体育の授業づくりや部活動指導に努める。 ◎食事に興味・関心もち、栄養バランスを配慮した食生活の実践に努めるよう、学級活動や給食委員会の活動で食育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な生活習慣を身に付けるため、「立腰」、「早寝、早起き、朝ご飯」を意識して生活する。 ◎感染症の予防のため、手洗いや消毒、マスクを着用する。 ◎目標をもって、一生懸命保健体育の授業や部活動に取り組む。 ◎自他の健康管理や事故の未然防止に努め、明るく元気に生活する。 ◎栄養バランスを考えた食生活を実践する。(日々の給食やお弁当の日など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「あいさつ」、「よい姿勢」、「早寝、早起き、朝ご飯」を通して望ましい生活習慣の形成をうながす。 ◎手洗い、手指の消毒、マスクの着用などを促し、感染症の予防に努める。 ◎家庭での食事を通して、望ましい食生活や食習慣の形成をうながす。 ◎交通安全など、事故の未然防止や事件に巻き込まれないための話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの安全や安心を守り、伸び伸びと生活できるよう協力する。 ◎地域の方々の明るいあいさつや姿で、子どもの元気を引き出すよう協力する。 ◎地域の行事や清掃活動への参加を呼びかける。 ◎楽しく体を動かすことができる環境を整備し、提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎あいさつ運動を推進する。 ◎ボランティア養成講座を開設する。 ◎自治医科大学と連携する。
地域と ともにある学校	<ul style="list-style-type: none"> ◎公共の場での行いについて考えさせ、正しく行動する生徒を育てる。 ◎地域の方を外務講師として招き、ふるさと学習やキャリア教育を推進する。 ◎各種便りや学校HPで、学校の様子や生徒の活躍の様子を家庭や地域に情報提供し「開かれた学校づくり」を推進する。 ◎地域の魅力を生かした教育活動や社会体験学習を通して、生徒の自発性、社会性などを育てる。 ◎学校運営協議会の協議を充実し、教育活動の改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎公共のルールやマナーを守って生活する。 ◎自分たちが住んでいる地域の特色や文化、および伝統について知識を深める。 ◎地域の人に明るくあいさつする。 ◎地域の一員としての自覚をもち、地域の行事や奉仕活動、防災訓練等に積極的に参加する。(二中学校区小中合同クリーン活動、エコライフまつり:竹串づくり、アルミ竿灯、看板製作協力) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭であいさつや公共のルール・マナー等について話をする。 ◎各種便りや学校HPで、学校の様子や生徒の活躍の様子を見て家庭の話題とする。 ◎地域の文化や特色、および伝統について知識を深め、家庭の話題とする。 ◎学校行事や地域行事に親子で参加する。 ◎災害時にどのように行動するか話し合うなど、防災の意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもや大人にとって安全・安心な環境づくりに努める。 ◎子どもの様子を見守り、正しい行動について一緒に考え、声かけをする。 ◎住んでいる人や街並み、地域の行事などを大切にして、子どもたちがふるさとを大切に想う心を育てる。 ◎地域の人と人とのつながりを大切にし、互いを思いやる生活を心がける。 ◎各種便りや学校HPで、学校の様子や取組を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校行事・地域行事への参加・協力を呼びかける。(二中学校区小中合同クリーン活動・エコライフまつりなど) ◎安心安全な登下校をするため見守りボランティア協力を呼びかける。 ・朝夕の散歩 ◎公民館主催行事への参加・推奨する。